



新しい計算機システムの紹介

Introduction of New Computer System

川田工業㈱・電算センター

当社では情報処理に関する長期計画に基づき、その一環として本年9月にセンター・マシンと端末機のレベル・アップおよび全社ネットワークの拡充を行ったので、その概要を紹介する。

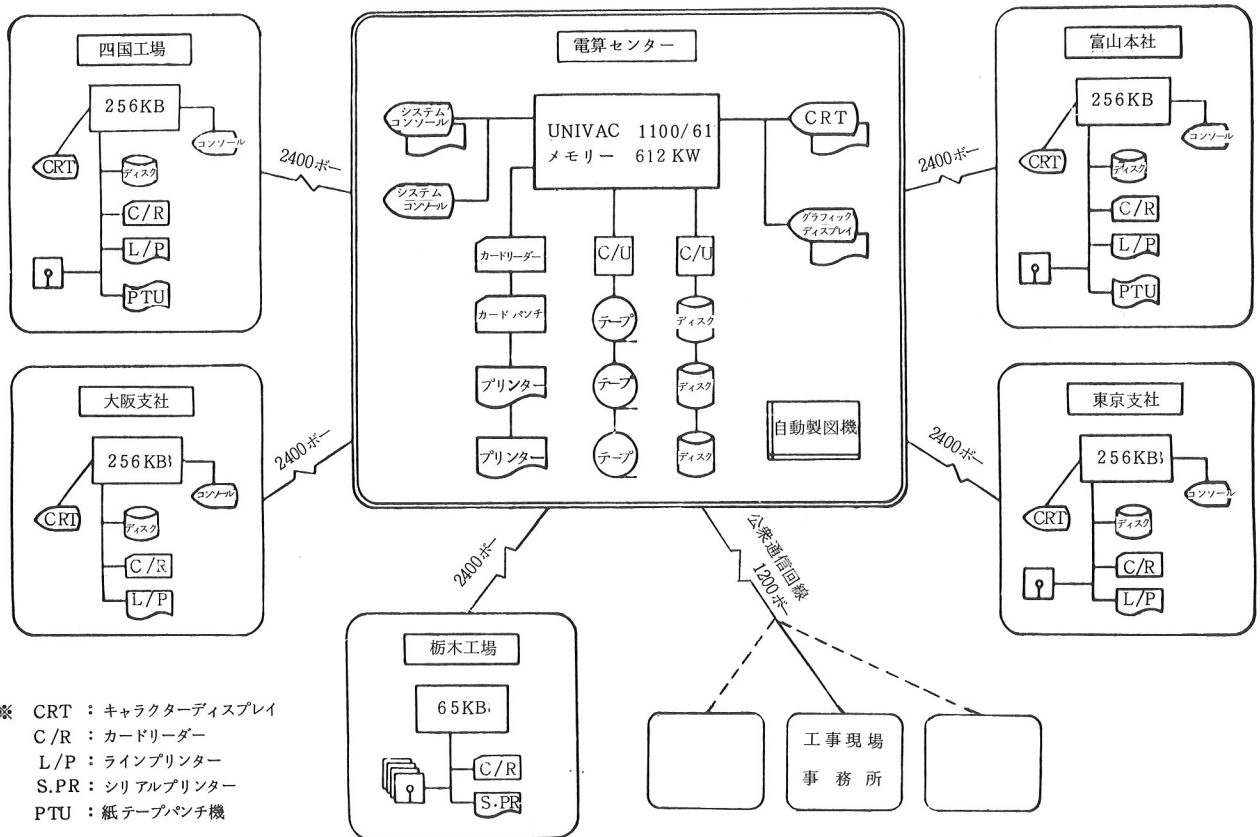
昭和43年にコンピュータを自社導入して以来、業務の合理化と発注先のニーズに対応すべく、構造解析・自動設計・生産管理・予算管理・その他のシステム開発を行ってきた。それと同時にコンピュータについても逐次レベルアップを行いながら、昭和49年からはUNIVAC 1106を導入し、富山本社・東京支社・大阪支社・四国

工場等とオンラインを開始し、現場のニーズに対応してきた。

システムの開発を進めてゆくに従い、他のシステムとのインター・フェイスあるいは、システム間での重複が生じてくるので、これらの問題点を解決するため、データ・ベースを用いたトータル・システム化を推進してきた。

また各システムの業務の利用範囲の拡大と利用する形態の変化に対応するためには、UNIVAC 1106では能力的にも機能的にも限界に達したので、図のようなレベルアップを行った。

全社ネットワーク



- ※ CRT : キャラクターディスプレイ
- C/R : カードリーダー
- L/P : ラインプリンター
- S.PR : シリアルプリンター
- PTU : 紙テープパンチ機

今回のレベル・アップによって、従来はセンター集中処理が主であった業務形態が、現場のニーズに迅速に対応できる分散処理が可能になった。また端末でデータ・ベースを利用できるので、データの一元化が全社的レ

ベルで計れる。すなわち、社内ネット・ワークの充実に より、営業情報・設計データに始まり、製作データと製作状況データを含むすべての必要な情報を含む、本当の意味のトータル・システムの活用が望まれる。